

歴

史資料館だより



No.70
教育委員会生涯学習課
文化財グループ
(☎0296-20-6300)

第10回企画展

会場／真壁伝承館歴史資料館

新収蔵品展2

桜川のおたから

新発見・市ゆかりの品々

今回の展示は、近年桜川市の収蔵品となった貴重な資料を公開します。

歴史資料館では桜川市の歴史や習俗などを理解する材料とするため、とくに資料的な価値の高いものを受け入れています。

受け入れた資料は、「寄贈資料」や「寄託資料」などと呼ばれ、代表的なものとしては、畑などから出てきた土器や蔵の中に保管されていた古文書、昔から使われている民具などがあげられます。どれも長い時を経て偶然残った貴重なものです。

これら市民の方々から寄贈・寄託された資料は、桜川市を語るうえで欠かせない文化財となります。

展示のみどころ

みどころは、それぞれの資料がどのように桜川市と関連しているかに注目です。

では、今回展示する資料の一部をご紹介します。

①リードオルガン

足もとのペダルで空気を送り、リードと呼ばれる部分を振動させ、音を出す楽器です。この資料は昭和初期のもので、旧南飯田小学校門毛分校にゆかりのある資料です。



リードオルガン

②薬筆筒

薬屋や医者が必要薬品を収納しておく専用の筆筒です。引き出しの多さと、丸い取っ手から「百目筆筒」とも呼ばれます。この資料は江戸時代末から明治初期のもので、旧酒寄村にゆかりのある資料です。



薬筆筒

③木植村検地帳

安土桃山時代に書かれた中原家文書（市指定文化財）の一部。桜川市域で行われた大間検地の検地帳としては唯一現存するものです。



木植村検地帳

体験コーナー

今回は展示会場に体験コーナーを設けました。今ではなかなか見ることの少なくなつた民具などを実際に動かしてみることが出来ます（左写真は昭和30〜40年代の足踏み式ミシン）。近くで見ても、触れて体感してみてください。



足踏み式ミシン

新収蔵品展は、今回で第2回目です。歴史資料館および教育委員会生涯学習課文化財グループでは、市民の方々の協力を得て、市内の歴史などに関する資料を収集・保存に努めています。

そのような活動のなかで、見出された最新の収蔵品からわかった桜川市の歴史の一端をぜひご覧下さい。

■会期／9月1日（金）〜12月27日（水）

無料法律相談会開催のお知らせ

日時：9月24日（日）9:00～17:00 完全予約制
場所：弁護士法人萩原総合法律事務所
初回相談の方限定とさせていただきます。事情によりお断りさせていただくこともございます。

☎ 0296-48-8875



弁護士法人
萩原総合法律事務所

筑西市乙828番3 SATOHビル2階（JR下館駅南口徒歩1分）

茨城県弁護士会所属
弁護士
萩原 慎二、平久 真
野田 幹子、小林賢太郎

- 粗大ゴミ収集運搬業務
- 事業系ごみ収集運搬業務
- 一般廃棄物収集運搬業務

明野資源リサイクル(株)

本社

〒300-4513 筑西市中根94

☎0296-52-2337

真壁支店

〒300-4421 桜川市真壁町原方191-4

☎0296-23-9230